

新潟市早期景気観測調査

～平成29年7月分～

～目次～

7月調査の概要と概況	・・・P1
売上等項目別評価と業種別DI値	・・・P2
業界から寄せられた主なコメント	・・・P3
本調査方法と調査内容	・・・P4

新潟商工会議所

1. 7月調査の概要と概況

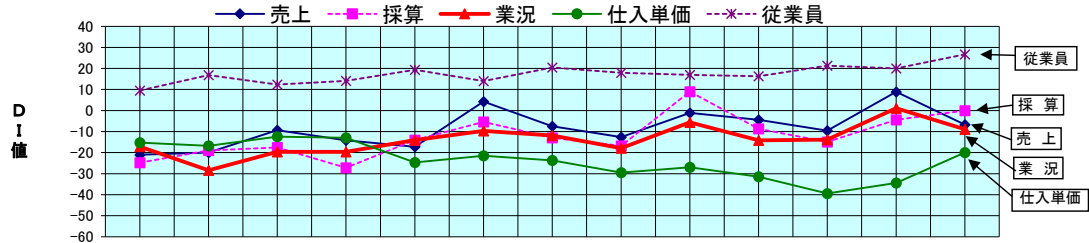
【7月の概要】

景況感は一進一退の動き、先行きも改善は弱い見通し

6月に比べると、売上DIと業況DIは、プラスからマイナスに転じたが、仕入単価DIはマイナス幅が減少し、採算DIもマイナスからやや改善している。従業員DIはプラス幅が増加している。景況改善の期待が高まるものの、一進一退の動きとなっており、建設、製造業、サービス業でも人手不足との声が聞かれ、景況改善にも影響を与えている。

先行きについては、6月に比べ、仕入単価DIはマイナス幅が減少しているが、売上DI、業況DIともプラス幅が減少し、採算DIはプラスからマイナスに転じている。従業員DIはプラス幅に大きな変動はなく、人手不足も続き、景況改善の動きは弱い見通しとなっている。

景気動向(前年同月比)全産業DI値(平成28年7月～平成29年7月)



	H28年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	H29年 7月
売上	▲21.0	▲20.0	▲9.3	▲14.1	▲17.2	4.3	▲7.5	▲12.6	▲1.1	▲4.4	▲9.6	8.9	▲6.7
採算	▲24.8	▲19.0	▲17.5	▲27.2	▲14.0	▲5.4	▲12.9	▲16.8	9.0	▲8.7	▲14.9	▲4.4	0.0
業況	▲17.1	▲28.4	▲19.6	▲19.6	▲14.0	▲9.7	▲11.8	▲17.9	▲5.6	▲14.1	▲13.8	1.1	▲8.9
仕入単価	▲15.2	▲16.8	▲12.4	▲13.0	▲24.7	▲21.5	▲23.7	▲29.5	▲27.0	▲31.5	▲39.4	▲34.4	▲20.0
従業員	9.5	16.8	12.4	14.1	19.4	14.0	20.4	17.9	16.9	16.3	21.3	20.0	26.7

DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

1. 調査概況報告

【全産業平均DI】

売上DIはマイナス6.7ポイント、業況DIはマイナス8.9ポイントになり、それぞれプラスからマイナスに転じた。仕入単価DIは14.4ポイントマイナス幅が減少し、採算DIはマイナス4.4ポイントから0となった。従業員DIは6.7ポイントプラス幅が増加した。

全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	仕入単価	従業員	業況
6月	18.9	11.1	▲35.6	31.1	10.0
7月	12.2	▲2.2	▲20.0	30.0	1.1

先行きは、売上DIが6.7ポイント、業況DIが8.9ポイント、それぞれプラス幅が減少した。採算DIはプラスから転じ、マイナス2.2ポイントとなった。仕入単価DIは15.6ポイントマイナス幅が減少し、従業員DIが1.1ポイントプラス幅が減少した。

【業種別DI】

建設業は前年同月比で6月に比べ、仕入単価DIが2.3ポイントマイナス幅が減少し、売上DIがマイナス13.3ポイントから0となったものの、採算DI、従業員DIが共に7.4ポイントプラス幅が減少した。業況DIはプラス6.7ポイントから0となった。先行きは、仕入単価DIが2.3ポイントマイナス幅が減少したものの、売上DIで2.3ポイント、採算DIで8.2ポイント、従業員DIで9.0ポイント、業況DIで14.1ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。

製造業は前年同月比で6月に比べ、仕入単価DIが9.6ポイントマイナス幅が減少したものの、売上DIがプラスポイントからマイナス21.7ポイントに転じ、採算DIは11.1ポイントマイナス幅が増加し、従業員DIは3.3ポイントプラス幅が減少した。業況DIは0ポイントからマイナス17.4ポイントとなった。先行きは仕入単価DIで8.9ポイントマイナス幅が減少したものの、採算DIはマイナス17.4ポイント、業況DIはマイナス8.7ポイントとそれぞれプラスポイントからマイナスポイントに転じ、売上DIは16.3ポイント、従業員DIは3.9ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。

卸売業は前年同月比で6月に比べ、仕入単価DIで28.3ポイントマイナス幅が減少し、従業員DIで0ポイントからプラス26.7ポイントになったものの、売上DIと採算DIが共に0ポイントからそれぞれマイナス13.3ポイント、マイナス6.7ポイントとなった。業況DIは10.0ポイントマイナス幅が増加した。先行きは業況DIがマイナスポイントからプラス6.7ポイントに転じ、従業員DIは5.0ポイントプラス幅が増加し、仕入単価DIは25.0ポイントマイナス幅が減少した。採算DIも0ポイントからプラス6.7ポイントとなった。売上DIは0ポイントで変動はなかった。

小売業は前年同月比で6月に比べ、従業員DIで18.6ポイントプラス幅が増加し、仕入単価DIで1.4ポイントマイナス幅が減少したものの、売上DIはプラスポイントからマイナス14.3ポイントに転じ、業況DIは37.1ポイントマイナス幅が増加した。採算DIも0ポイントからマイナス14.3ポイントとなった。先行きは従業員DIで18.6ポイントプラス幅が増加し、仕入単価DIで15.7ポイントマイナス幅が減少したものの、採算DIはプラスポイントからマイナス42.9ポイントへ、業況DIもプラスポイントからマイナス28.9ポイントにそれぞれ転じた。

サービス業は前年同月比で6月に比べ、サービス業で4.9ポイント、業況DIで5.3ポイントとそれぞれプラス幅が減少したものの、採算DIはマイナスポイントからプラス25.0ポイントに転じ、従業員DIは2.9ポイントプラス幅が増加した。仕入単価DIも22.1ポイントマイナス幅が減少した。先行きは仕入単価DIでマイナス幅が10.1ポイントマイナス幅が減少したものの、売上DIで2.6ポイント、採算DIで8.9ポイント、従業員DIで9.6ポイント、業況DIで5.3ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。

2. 売上等項目別評価と業種別DI値

【項目別評価】

＜売上＞

売上D I の前年同月比は、建設業でマイナス13.3ポイントから0ポイントになったものの、製造業でプラスポイントからマイナス21.7ポイントに転じ、小売業もプラスポイントからマイナス14.3ポイントに転じた。サービス業は4.9ポイントプラス幅が減少し、卸売業は0ポイントからマイナス13.3ポイントとなった。

先行きについては、建設業で23.2ポイント、製造業で16.3ポイント、サービス業で2.6ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。小売業は4.3ポイントマイナス幅が増加した。卸売業は0ポイントで変動はなかった。

＜採算＞

採算D I の前年同月比は、サービス業でマイナスポイントからプラス25.0ポイントに転じたものの、建設業は7.4ポイントプラス幅が減少し、製造業が11.1ポイントマイナス幅が増加した。卸売業と小売業は共に0ポイントからそれぞれマイナス6.7ポイント、マイナス14.3ポイントとなった。

先行きについては、卸売業で0ポイントからプラス6.7ポイントとなったものの、製造業と小売業は、共にプラス10.0ポイントからそれぞれマイナス17.4ポイント、マイナス42.9ポイントとなった。建設業は8.2ポイント、サービス業は8.9とそれぞれプラスポイントが減少した。

＜仕入単価＞

仕入単価D I の前年同月比は、建設業で2.3ポイント、製造業で9.6ポイント、卸売業で28.3ポイント、小売業で1.4ポイント、サービス業で22.1ポイントとそれぞれマイナス幅が減少した。

先行きについては、建設業で22.3ポイント、製造業で8.9ポイント、卸売業で25.0ポイント、小売業で15.7ポイント、サービス業で10.1ポイントとそれぞれマイナスポイントが減少した。

＜従業員＞

従業員D I の前年同月比は、建設業で7.4ポイント、製造業で3.3ポイントとそれぞれプラス幅が減少したものの、小売業は18.6ポイント、サービス業は2.9ポイントとそれぞれプラス幅が増加した。卸売業は0ポイントからプラス26.7ポイントとなった。

先行きについては、卸売業で5.0ポイント、小売業で18.6ポイントとそれぞれプラス幅が増加したものの、建設業は9.0ポイント、製造業は3.9ポイント、サービス業は9.6ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。

＜業況＞

業況D I の前年同月比は、卸売業で10.0ポイント、小売業で37.1ポイントとそれぞれマイナス幅が増加し、サービス業は5.3ポイントとプラス幅が減少した。製造業は0ポイントからマイナス17.4ポイントとなり、建設業はプラス6.7ポイントから0ポイントとなった。

先行きについては、卸売業でマイナスポイントからプラス6.7ポイントに転じたものの、製造業でプラスポイントからマイナス8.7に転じ、小売業もプラスポイントからマイナス28.6ポイントに転じた。建設業は14.1ポイント、サービス業は5.3ポイントとそれぞれプラス幅が減少した。

【参考】全産業平均DI-向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	仕入単価	従業員	業況
6月	18.9	11.1	▲ 35.6	31.1	10.0
7月	12.2	▲ 2.2	▲ 20.0	30.0	1.1

2. 業種別DI値

①:前年同月比 ②:向こう3か月間の先行き見通し

(1)建設業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
6月	▲ 13.3	46.7	13.3	20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	13.3	26.7	6.7	20.0
7月	0.0	23.5	5.9	11.8	▲ 17.7	▲ 17.7	5.9	17.7	0.0	5.9

(2)製造業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
6月	20.0	25.0	▲ 15.0	10.0	▲ 40.0	▲ 35.0	25.0	30.0	0.0	15.0
7月	▲ 21.7	8.7	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 30.4	▲ 26.1	21.7	26.1	▲ 17.4	▲ 8.7

(3)卸売業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
6月	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 35.0	▲ 45.0	0.0	15.0	▲ 10.0	▲ 10.0
7月	▲ 13.3	0.0	▲ 6.7	6.7	▲ 6.7	▲ 20.0	26.7	20.0	▲ 20.0	6.7

(4)小売業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
6月	30.0	▲ 10.0	0.0	10.0	▲ 30.0	▲ 30.0	10.0	10.0	▲ 20.0	10.0
7月	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 14.3	28.6	28.6	▲ 57.1	▲ 28.6

(5)サービス業

	売上(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員		業況	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
6月	12.0	24.0	▲ 12.0	16.0	▲ 40.0	▲ 28.0	40.0	56.0	16.0	16.0
7月	7.1	21.4	25.0	7.1	▲ 17.9	▲ 17.9	42.9	46.4	10.7	10.7

3. 業界から寄せられた主なコメント

平成29年7月

建設業	管 工 事：人手不足による人件費の高騰継続から採算では原価がアップ。 総 合 建 設：景況感としては上昇してきてはいるが、先行き受注増は不透明。
製造業	食 品：消費低迷により売上不振。パート従業員の確保が困難。 機 械 部 品：素材・エネルギー関係で値上げ要請が続いている。
卸売業	日 用 品：天候不順で夏物不振である。 衣 服：昨年、夏物の動きは月末まで売れず。今年は気温上昇が上旬と3週間早く、夏物の動きがよい。
小売業	家 具：売上は前年比較で、やや「弱い含み」で推移している。
サービス業	タ ク シ ー：人手が欲しいが、なかなか思うように充足できないでいる。 ホ テ ル：少しづつではあるが、景気回復傾向にある。夏休みに向かって、宿泊プランのさらなる造成でインバウンドを含めた顧客の誘致を狙う。 給 食：労働者が減り、高齢者の方が増えてきた。生産効率を上げていく必要がある。

4. 本調査方法と調査内容

業種別調査対象数

業 種	建 設 業	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービス業	合 計
調査対象数(件)	61	61	60	50	69	301
回 答 数(件)	17	23	15	7	28	90
回 収 率(%)	27.9	37.7	25.0	14.0	40.6	29.9

調 査 方 法

新潟市内にある当所の会員企業・団体等の中から、建設・製造・卸・小売・サービスの5業種について、予め調査への協力をお願いした301ヶ所の調査対象に対し、毎月15日前後に調査票をインターネットまたはファクシミリ送信し、25日前後までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

質 問 内 容

売上・採算・仕入単価・従業員・業況について、今月の動向が前年同月と比較してどのように変化しているかということと、今後3ヶ月の見通しについて、今月と比較してどのように考えるかということを探っています。

D I と は

DI(DIFFUSION INDEX)値：景況判断指数

売上・採算・業況などの各項目についての、調査対象の判断の状況を表す指数です。
ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を示す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。つまり、売上高など実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味します。

D I の 計 算 方 法

$DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上	(増加)の回答%－(減少)の回答%
採算	(好転)の回答%－(悪化)の回答%
仕入単価	(下落)の回答%－(上昇)の回答%
従業員	(不足)の回答%－(過剰)の回答%
業況	(好転)の回答%－(悪化)の回答%